

産業廃棄物処理計画書	
令和 5年 6月 29日	
東大阪市長 殿	
提出者	
住 所	大阪市中央区北久宝寺町3-6-1
氏 名	株式会社鴻池組大阪本店 取締役専務執行役員本店長 梅本 真 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号	06-6245-6319
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社鴻池組大阪本店
事業場の所在地	大阪市中央区北久宝寺町3-6-1
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	建設業(06総合工事業)
②事業の規模	266,482百万円(令和4年度完成工事)
③従業員数	1,907名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	・工事事務所毎に、産業廃棄物処理委託契約書を収集運搬業者、産業廃棄物処理(中間・最終)業者と各々締結する。 ・分別を行った産業廃棄物の種類毎にマニフェストを発行し、処理を委託する。(原則的には電子マニフェスト) ・委託した産業廃棄物は、中間処理施設を経てリサイクル又は最終埋立処分が行なわれる。 ・中間処理施設と最終処分場との委託契約及びマニフェストの発票は、中間処理業者が

(日本産業規格 A列4番)

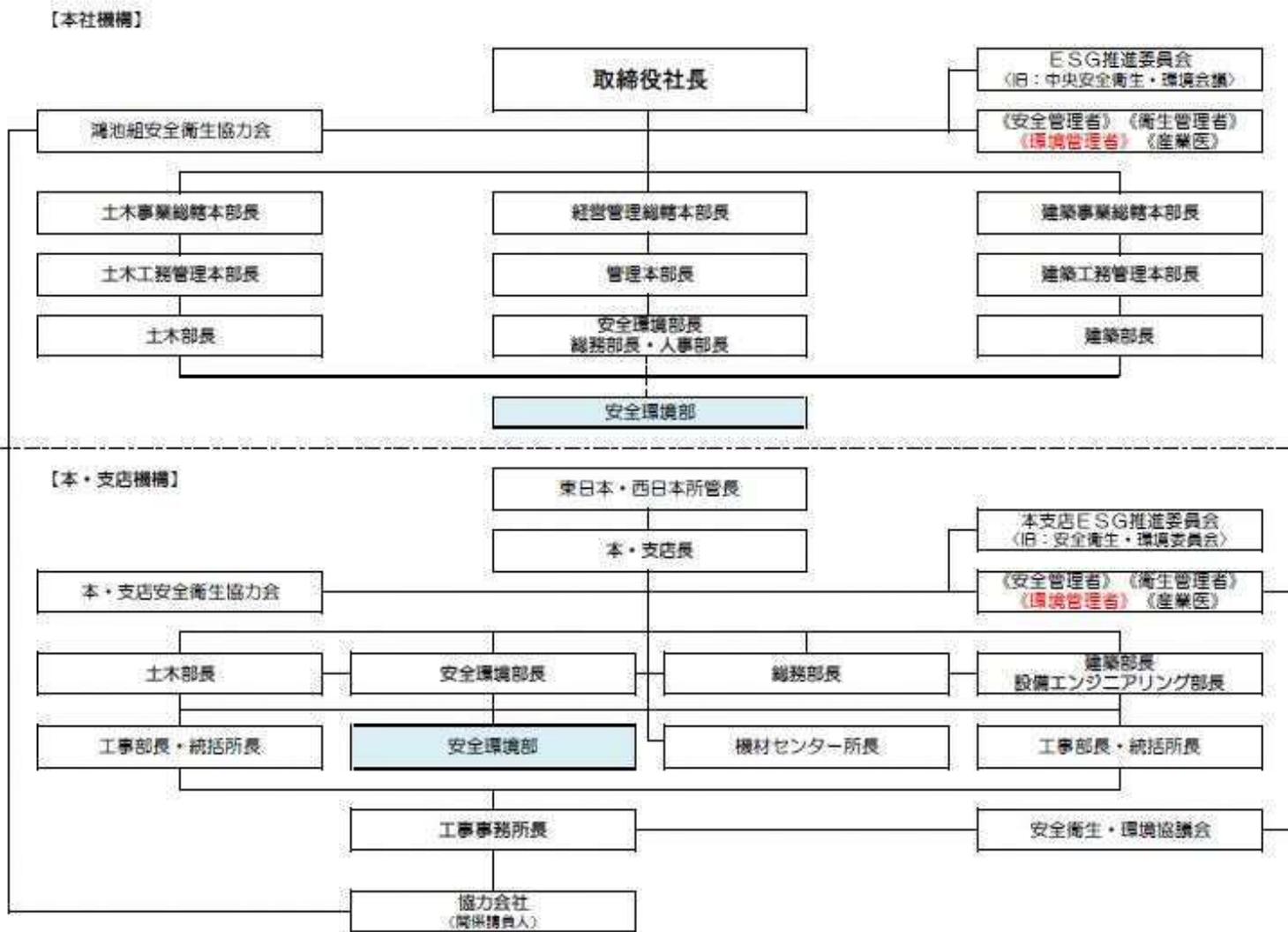
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類			
	全処理委託量	計画書別紙による	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量		t	t
	再生利用業者への処理委託量		t	t
	認定熱回収業者への処理委託量		t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t	t
	(今後実施する予定の取組)			
・再資源化率の高い事業者、優良認定許可を受けた事業者の優先選定を継続していく。				
※事務処理欄				

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

㈱鴻池組安全衛生・環境管理組織機構図



今年度【令和5年度】目標

提出書					
行 名	名 称	担当部署	担当氏名	電話番号	FAX
産業集積物を排出する事業者等に対する管理手元支援等の提供に関する取組の進捗	産業集積物を排出する事業者等に対する管理手元支援等の提供に関する取組の進捗	環境部 環境課	大塚 真由	04-4244-4313	04-4244-4400
大宮市中央地区久安寺町三丁目台番1号	環境部 環境課	大塚 真由	大塚 真由	04-4244-4313	04-4244-4400

産業集積物の種類	計 算 の 要 領 注										20年度 削減率(%)	21年度 削減率(%)	
	1 排出量(%)	2 自前資源再生素材 削減率(%)	3 自前資源再生素材 削減率(%)	4 自前資源再生素材 削減率(%)	5 自前資源再生素材 削減率(%)	6 自前資源再生素材 削減率(%)	7 自前資源再生素材 削減率(%)	8 自前資源再生素材 削減率(%)	9 自前資源再生素材 削減率(%)	10 自前資源再生素材 削減率(%)			11 自前資源再生素材 削減率(%)
産業集積物の種類	1の量のうち、中継 施設に排出された産業 集積物の重量	2の量のうち、中継 施設に排出された産業 集積物の重量	3の量のうち、中継 施設に排出された産業 集積物の重量	4の量のうち、中継 施設に排出された産業 集積物の重量	5の量のうち、中継 施設に排出された産業 集積物の重量	6の量のうち、中継 施設に排出された産業 集積物の重量	7の量のうち、中継 施設に排出された産業 集積物の重量	8の量のうち、中継 施設に排出された産業 集積物の重量	9の量のうち、中継 施設に排出された産業 集積物の重量	10の量のうち、中継 施設に排出された産業 集積物の重量	11の量のうち、中継 施設に排出された産業 集積物の重量	20年度 削減率(%)	21年度 削減率(%)
1 500 コンプリートから	5,000.00											200	
2 0810 木くず	100.00											120	
3												20	
4												0	
5												10	
6												15	
7												0	
8												300	
9												10	
10												5	
11												5	
12												0	
13												400	
14													
15													
16													
17													
18													
19													
20													
合計	5,100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,085	0

(注) 10未満は四捨五入、ただし、数字が有効であれば小数点以下第4位まで記載可。